

事業所： つばさ園

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	利用定員活動スペースについては、決められた基準の広さとなっていますが、成長期の男の子が多い日は、狭く感じることがあります。スペースを上手に使い使用していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	必要人数は、その都度確認し、足りない時には補充できるような体制が整っています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	スロープなどの対策を検討しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	毎日の振り返りの中で、個人個人の課題について話し記録を残しています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今回の実施において、マイナスな意見を謙虚に受け止め改善につなげられるように、今までの業務の見直しや、計画を行っていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今回初めて、3月中旬にHPIに公開します。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後は、取り組んでいきます。
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	毎月の会議の中で、検討会議などを開き意見交換を行っています。職員全体の講演会も年に一度は行われています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談で保護者からの聞き取り、アセスメントシートの作成を行い相談支援事業所との連携により、計画の作成に役立っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	全員に同一のアセスメントシートの記入をお願いしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティング時に、活動の案をみんなで話し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2週間ごとに活動内容を変えて取り組んでいます。目標を決めて、獲得していくものについては、短時間でも、長期間継続して、続けているものもあります。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇中は、普段できない活動を取り入れています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	運動面・生活面・コミュニケーション面において、個々に合わせた目標を設定しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	出勤時に本日のプログラムや担当状況等確認できるようになっています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	必ず、一日の様子の振り返りを話し合い、特記事項として残しておかなければならないものについては、ノートに記入し、みんなで共有、周知しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援の状況をその日のうちに記録し、次回の支援に役立っています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	常勤職員はモニタリングに積極的に参加し、計画の見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	余暇活動や、生活の基盤の向上に取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	支援計画担当者、責任者が会議に参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	お迎え時に、担任の先生より一日の様子について引き継ぎを受け、必要な時には、こちらの様子も伝えて、情報の共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアの必要な方のご利用がありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	小学5年生から中学3年生までのご利用となっています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	小学5年生から中学3年生までのご利用となっています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センターとの連携をとっています。今後は、今以上に努めていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	公園等での地域の子もたちとの交流の機会があります。これから、地域の学校との交流会も検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今後積極的に参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	ご利用時に、保護者へ担当指導員が一日の様子について伝え、気になることがある時には、管理者も含め話し合い、共通理解に努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	今後、検討していきます。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に管理者が読み合わせ、説明を行っています。保護者からの質問に対してその都度対応しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必ず、お迎えの時に保護者に当日の様子を伝え、保護者からの質問や相談に対しても丁寧に対応しています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	長期休暇の企画で、親子参加を行っています。園での発表会など、保護者の方が集まる機会があり、保護者同士の繋がりが来ています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情の体制については、契約時に伝えてあります。苦情があった場合には、管理者に伝え迅速に対応しています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に活動内容の報告としてお便りを発行しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	保管場所等、注意して管理しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	本人の意思を確認できるように、丁寧に聞くこと、写真カードの提示、選択肢による選択などを行っています。プラスの面を伸ばせるように保護者には伝えてあります。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今後、検討していきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	園の見やすいところに貼って、職員全員に周知していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署立ち合いの訓練等は、年1度以上行っています。定期的に必要な訓練を行っていきます。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止のための気づきチェックなどを用いて、職員全員の意識を高め、定期的に話し合いの機会を持っています。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	個別支援計画にバギー乗車時のベルトの使用の対応について記載して了承を得ています。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	入園前にアレルギーの有無について保護者に確認をしています。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	周知徹底できるよう共有方法などを検討していきます。